

通 知 書

令和 2 年 7 月 3 日

堺 市 長 殿

(工事発注者) 発注者職氏名 堺 市 長 永 藤 英 機  
住 所 堺市堺区南瓦町3番1号

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第11条の規定により、下記のとおり通知します。

記

連絡先	所 属 名	堺市〇〇局〇〇部〇〇課〇〇係		
	担当者職氏名	技術職員 堺 二 郎		
	電 話 番 号	072-200-0000 (内線 0000)		
工 事 の 内 容	工 事 の 名 称	府道〇〇線道路改良工事		
	工 事 の 場 所	堺市 〇〇 区〇〇町〇〇		
	工 事 の 概 要	工事の種類 <input type="checkbox"/> 建築物に係る解体工事 <input type="checkbox"/> 建築物に係る新築又は増築の工事 <input type="checkbox"/> 建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの <input checked="" type="checkbox"/> 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等( )注1		
		工事の規模 建築物に係る解体工事 用途                      階数 ____    工事対象床面積                      m <sup>2</sup>		
		建築物に係る新築又は増築の工事 用途    __階数 ____    工事対象床面積                      m <sup>2</sup>		
建築物に係る新築工事等であって新築又は増築の工事に該当しないもの 用途    __階数                      請負代金                      万円(税込)				
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等		請負代金	8,925	万円(税込)
工 期	令和 2 年 6 月 7 日 ~ 令和 3 年 3 月 25 日 工事着手予定日 : 令和 2 年 7 月 13 日			
請 負 者	会 社 名	〇〇建設株式会社	現場代理人氏名	堺 一
	所 在 地	〒590-0000 堺市〇〇区〇〇町〇〇丁〇〇番〇〇号		
	電 話 番 号	072-200-0000	F A X	072-200-0000

欄には、該当箇所には「レ」を付すること。

注1) 建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等の場合は工事の具体的な種類を記入する。(例:舗装、築堤、土地改良等)

※受付番号: \_\_\_\_\_

様式1 再生資源利用計画書(実施書) - 建設資材搬入工事用 - 「建設リサイクルガイドライン」様式 -

通知書別表1

表面

記入例

1. 工事概要

発注機関名	大阪府堺市	発注機関コード*1	272010	発注担当者チェック欄	担当者	チェック不要	請負会社名	(株)	請負会社コード*2	810000	記入年月日	H. 年 月 日
工事名	道路改良工事	工事種別コード*3	B-1	請負金額	千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満
工事施工場所	大阪府堺市	住所コード*4	27201	工期	平成14年7月7日まで	左記金額のうち特定資材廃棄物の処理費用	千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満	千円以上千円未満
工事概要等	延長300m, 切土3000m <sup>3</sup> , 道路盛土5600m <sup>3</sup> , 路盤工1050m <sup>3</sup> , 舗装工570m <sup>3</sup>	施工条件の内容(再生資源の利用に関する特記事項等)	1. 路体盛土材は市地先より運搬 2. 舗装工(基層及び歩道部)は再生加熱アスファルト混合物とする	建設・解体工事のみ右欄に記入して下さい	裏面の特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、建設発生木材、アスファルト・コンクリート塊)の処理費用を記入	建築面積 < 延床面積	地上階	地下階	階数	地上階	地下階	階数

2. 建設資材利用実施

注:コード\*5~9は下記欄外のコード表より数字を選んでください。

分類	小分類コード*5	規格	主な利用用途コード*6	利用量(A)	再生資材の供給元		再生資材の供給元場所住所	再生資材の名称コード*9	再生資材利用量(B)	再生資源利用率 B/A x 100	
					再生資材の供給元施設、工事等の名称	再生資材の供給元種類					
特定建設資材	コンクリート	1		10	トン					%	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	1		5	トン					%	
	木材	1			トン					%	
	アスファルト混合物	1	(20)	1	740	トン	道路(株)工場	堺市 地先	1	494	トン
その他の建設資材	土砂	2		2100	締めm <sup>3</sup>	道路改良工事	堺市 地先	2	2100	締めm <sup>3</sup>	100%
	砕石	1	C40~0	1080	m <sup>3</sup>	(株)工場	堺市 地先	1	1080	m <sup>3</sup>	100%
	その他(再生資材のみ記入)				トン					トン	%
	合計			1920	m <sup>3</sup>				1610	m <sup>3</sup>	84%

コード\*5  
コンクリートについて  
1.生コン 2.無筋コンクリート二次製品 3.その他  
コンクリート及び鉄から成る建設資材について  
1.有筋コンクリート二次製品 2.その他  
木材について  
1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード  
アスファルト混合物について  
1.粗粒度アスコン  
2.密粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)  
3.細粒度アスコン 4.アスファルトモルタル  
5.加熱アスファルト安定処理路盤材  
土砂について  
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土  
4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土  
7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂  
9.山砂、山土等の購入土、採取土  
砕石について  
1.クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3.鉞さい 4.単粒度砕石  
5.くり石、割くり石 6.その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

コード\*6  
アスファルト混合物について  
1.表層 2.基層  
3.上層路盤 4.歩道  
5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等)  
土砂について  
1.道路路体 2.路床 3.河川築堤  
4.構造物等の裏込材、埋戻し用  
5.宅地造成用 6.水面埋立用  
7.ほ場整備(農地整備)  
8.その他(具体的に記入)  
砕石について  
1.舗装の下層路盤材  
2.舗装の上層路盤材  
3.構造物の裏込材、基礎材  
4.その他(具体的に記入)  
その他について(利用用途を具体的に記入)

コード\*7  
再生資材の供給元について  
1.現場内利用  
2.他の工事現場(陸上)  
3.他の工事現場(海上)  
4.再資源化施設  
5.ストックヤード  
6.その他

コード\*8  
施工条件について  
1.再生材の利用の指示あり  
2.再生材の利用の指示なし

コード\*9  
コンクリートについて  
1.再生生コン 2.再生無筋コンクリート二次製品 3.その他  
コンクリート及び鉄から成る建設資材について  
1.再生有筋コンクリート二次製品 2.その他  
木材について  
1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード  
アスファルト混合物について  
1.再生粗粒度アスコン  
2.再生密粒度アスコン(開粒度及び改質アスファルトコンクリートを含む)  
3.再生細粒度アスコン 4.再生アスファルトモルタル  
5.再生加熱アスファルト安定処理路盤材  
土砂について  
1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土  
4.第四種建設発生土 5.浚渫土 6.土質改良土  
7.建設汚泥改良土 8.再生コンクリート砂  
9.山砂、山土等の購入土、採取土  
砕石について  
1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉞さい  
4.その他  
その他について(再生資材の名称を具体的に記入)

注1:再生資材利用量について  
・アスファルト混合物等で、利用した再生材(製品)の中に、新材が混入している場合であっても、新材混入分を含んだ再生資材(製品)の利用量を記入してください。  
・利用量のうち、再生材の利用量を記入します(利用量 再生資材利用量)  
・整数で記入してください

様式2 再生資源利用促進計画書(実施書) - 建設副産物搬出工事用 -

通知書別表2

記入例

1. 工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出実施

単位に注意

現場内利用の欄には、発生量(掘削等)のうち、現場内で利用したものについて御記入ください。

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

コード\*14(コード\*13で「7.内陸処分場」を選択した場合のみ記入)

1.山砂利等採取跡地 2.処分場の覆土 3.池沼等の水面埋立 4.谷地埋立 5.農地受入 6.その他

建設副産物の種類	発生量 (掘削等) = + +	現場内利用・減量		現場外搬出について										再生資源利用 促進率 (%)						
		用途 コード*10	利用量 うち現場内 改良分	減量法 コード*11	減量化量	搬出先名称		区分	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所	住所コード *4	運搬距離 千メートル	搬出先の 種類 コード*13		受入地 の用途 コード*14	現場外搬出量	うち現場内 改良分	再生資源 利用促進量 (注2)		
特定建設資材廃棄物	コンクリート塊	100	1	30		搬出先1	リサイクル(株) 工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	1 0	2		7 0		70	100		
	建設発生木材 (木材が廃棄物 になったもの)	10				搬出先1	(株)チップ化工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	5	2		8		8	80		
	アスファルト・ コンクリート塊	300				搬出先1	道路(株) 工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	1 5	2		3 0 0		300	100		
建設廃棄物	建設発生木材 (伐木材、除根 材など)	10				搬出先1	(株)チップ化工場	公共(民間)	1	堺市	2 7 2 0 1	1 5	2		8		8	80		
	建設汚泥	800			3	50	搬出先1	(株) 処分場	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	4 0	2	9	2 6 0		260	33	
	建設混合廃棄物	30					搬出先1	リサイクルセンター	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	1 5	2		3 0		30	100	
	金属(ず)	10					搬出先1	金属(株)	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	5	3		1 0		10	100	
	廃プラスチック	2					搬出先1	リサイクルセンター	公共(民間)	2	堺市	2 7 2 0 1	1 5	2		2		2	100	
	紙(ず)	1			1	1	搬出先1		公共(民間)									0	100	
	アスベスト (飛散性)	1					搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	1 0	7		1		0	0	
	その他の分別さ れた廃棄物	1					搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市	2 7 2 0 1	1 0	7		1		0	0	
	建設発生土	第一種 建設発生土	2000					搬出先1	工事	公共(民間)	1	堺市 地先	2 7 2 0 1	5	1		1 2 0 0	地山 <sup>3</sup>	2000	100
		第二種 建設発生土						搬出先1	ストックヤード	公共(民間)	2	堺市 地先	2 7 2 0 1	8	4		8 0 0	地山 <sup>3</sup>		
第三種 建設発生土		1700	3	700			搬出先1	工事	公共(民間)	1	堺市 地先	2 7 2 0 1	1 0	1		6 0 0	地山 <sup>3</sup>	600	76	
第四種 建設発生土							搬出先1	処分場	公共(民間)	3	堺市 地先	2 7 2 0 1	2 0	7	1	4 0 0	地山 <sup>3</sup>			
浚渫土							搬出先1		公共(民間)											
合計		3700		700											3 0 0 0	地山 <sup>3</sup>	2600	89		

コード\*10  
1.路盤材 2.裏込材  
3.埋戻し材 4.その他(具体的に記入)

コード\*11  
1.焼却 2.脱水  
3.天日乾燥 4.その他(具体的に記入)

コード\*12  
施工条件について  
1.A指定処分  
(発注時に指定されたもの)  
2.B指定処分(もしくは準指定処分)  
(発注時には指定されていないが、  
発注後に設計変更し指定処分とされたもの)  
3.自由処分

コード\*13(詳細は「表-4」参照のこと)  
再生資源利用促進  
(再生利用された場合)  
1.他の工事現場(内陸:公共、民間を含む)  
2.再資源化施設(土質改良プラントを含む)  
3.有償売却(工事請負会社が建設副産物を売却し、  
代金を得た場合)  
4.建設発生土ストックヤード(再利用工事が決まっている  
場合)  
5.海面埋立事業(海岸、海浜事業を含む)

最終処分場・その他  
(処分された場合)  
6.最終処分場(海面処分場)  
7.最終処分場(内陸処分場)  
8.建設発生土ストックヤード(再利用工事未定)  
9.焼却施設・最終処分場へ持ち込むための中間  
処理施設  
10.その他(具体的に記入)

注2:再生資源利用促進量について  
現場外搬出量のうち、搬出先の種類  
(コード\*13)が1~5の合計  
発生量 再生資源利用促進量

建設発生土の場合のみコード\*13で「7」選択時に記入

整数で記

整数で記入

市町村名と住所コードの一致

記入欄の桁に注意

木材で焼却を行った場合は「9」を選択

再資源化を行った場合は「2」を選択

最終処分場を行った場合は「7」を選択